

講義科目名称： 情報処理法

授業コード：

英文科目名称： Information Processing Method

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2025	1年	1	卒業必修
担当教員			
加藤 充布			
演習	教職(66条の6) 保育士	基礎教育科目	UFF-1-01
添付ファイル			

日程	前期
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 情報処理の目標と意義、講義のねらいと方法、評価などの説明 メール設定やClassroom参加など 講義に必要な準備を行う 【課題01】 情報リテラシー/データ・AI利活用における留意事項</p> <p>第2回 Wordの利用01 文書作成Wordの基本書式について Wordの基本操作について説明 簡単な文章作成</p> <p>第3回 Wordの利用02 表の挿入・編集 Wordの表挿入・編集について説明 【課題02】 文書の種類について調べる</p> <p>第4回 Wordの利用03 ビジネス文書作成 ビジネス文書作成をする 次回課題「レポート作成」の準備を始める</p> <p>第5回 Wordの利用04 レポート作成 以前調べた 文書の種類 に基づき 【課題03】 「(テーマ未定)」レポートを作成する</p> <p>第6回 PowerPointの利用01 基本操作 PowerPointの基本操作について説明 【課題04】 「(テーマ未定)」スライドショー作成01 ※「テーマ」はクラス内で意見交換決定</p> <p>第7回 PowerPointの利用02 テーマ未定 【課題04】 「(テーマ未定)」スライドショー作成02、提出</p> <p>第8回 Excelの利用01 基本的な使い方 Excelの基本操作について説明 四則演算の簡単な計算</p> <p>第9回 Excelの利用02 数式活用、関数 絶対参照、簡単な関数について IF関数や割合、構成比について01</p> <p>第10回 Excelの利用03 数式活用、関数(続き) IF関数や割合、構成比について01</p> <p>第11回 Excelの利用04 グラフ作成 様々なグラフの作成と複合グラフについて</p> <p>第12回 Excelの利用05 高度な関数について VLOOKUP、COUNTIF、SUMIFなどの高度な関数について</p> <p>第13回 Excelの利用06 データベースについて 並び替え、フィルター機能などについて</p> <p>第14回 Excelの利用07 課題作成・完成 Excel総まとめ 【課題05】 Excelまとめ問題作成・提出</p> <p>第15回 全体の振り返りとまとめ Word と Excel の連動 教科書以外に便利な関数の紹介 総まとめ</p>
この科目のテーマと授業の概要	現在の複雑化した高度情報化社会において、適切な情報活用は生活に不可欠なものである。本演習は、知的活動でも職業生活や社会生活でも必要となる基本的な情報処理能力を身に付けることを目的とする。更にICT教育の重要性が増す中、教育における情報の役割と活用について理解したうえで、コンピュータの仕組みやソフトウェアの利用方法、インターネットを通しての情報検索、電子メールの受発信などの基礎的な知識と技能について実践的に学習する。
この科目を履修する学生が達成すべき学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータや情報の歴史や理論を知り、現代社会における情報処理能力の重要性を理解し、情報処理の実習を通して、具体的な情報処理能力を身に付けている。</li> <li>・情報倫理を学び、正しい情報処理ができる。</li> </ul>
教科書	30時間でマスター Office2019 (Windows10対応) 実教出版
参考書、指定図書、資料など	特になし

成績評価方法	課題への取り組み・提出状況（100％）で評価する
事前・事後学習	毎回の内容の復習を丁寧に行い、理解を確実にする。日常生活や課題作成でWordやExcel、Powerpointを積極的に活用する [事前・事後学習:各0.5時間:合計1時間以上]
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来教員になるための力量を高めようという意欲を持って受講することを望む</li> <li>・講義には真剣に取り組み、欠席しないこと</li> <li>・講義中未完成問題は、次回講義までに完成させること</li> </ul>
担当教員実務経験	
ディプロマポリシーとの関連	<p>[児童教育専攻]</p> <p>1. 児童教育現場に求められる教養的知識を修得し、専門的職業人としての役割を果たすことができる</p> <p>[スポーツ教育専攻]</p> <p>1. 体育・スポーツ教育現場に求められる教養的知識を修得し、専門的職業人としての役割を果たすことができる</p>
フィードバック方法等	<p>次回の授業日で、課題の中の特徴的な見解や誤解についての解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・難解な課題の要点について、各質問については、メール等で画像なども活用しながら解説を配信します。</li> </ul>
アクティブ・ラーニング	○